

# AUE News

2011年6月15日

第 18 号

編集·発行 愛知教育大学広報部会 TEL 0566-26-2738 FAX 0566-26-2500

#### 目 次

- 行事予定(6月16-30日)
- トピックス
  - ・中島晴美教授が「パラミタ陶芸大賞展」に出展
  - ・安城南高校が本学見学
  - ・夢ナビライブに本学が参加
  - ・第3回サイエンス・カフェ
  - ・第1回環境ミーティング
  - ・タッチタイピング講習会

- ・たばこの吸い殻回収
- ・学生が田植えを体験
- ・墨塗り教科書展
- お知らせ・報告・投稿
- ・英語eラーニングシステムの活用を
- •第1回地域連携会議
- ・リポジトリ登録 3000 件突破
- ・形状記憶合金の分科会開催
- ・催しもの案内

### 行事予定(6月16-30日)

- 16日(木) 経済支援専門委員会(16:00~ 第三会議室)
- 21 日(火) 役員会(13:00~ 学長室)
- 22 日(水) 安全衛生委員会 (15:00~ 第五会議室)
- 24日(金) 経営協議会(10:00~ KKRホテル名古屋)
- 27日(月) 男女共同参画委員会(15:00~ 第三会議室)
- 28日(火) 個人情報保護委員会(13:30~ 第三会議室)
- 29 日(水) 教職大学院運営協議会 (10:30~ 第五会議室) 教授会 (13:30~ 第一会議室)

# トピックス

# 中島晴美教授が「パラミタ陶芸大賞展」に出展(6/2-7/31)



パラミタミュージアム(三重県菰野町)で、 「パラミタ陶芸大賞展」が6月2日(木)から7月31 日(日)まで開催されています。本学の中島晴 美教授(美術教育)の作品も出展されています。 そのため、初日に行ってきました。

2階特別展示の部屋には、6名の作家の力作がずらりと並んでいて壮観です。生命の躍動感を表した中島作品はひときわ目を引きます。同じく生命をあつかったものが、「ゴトランド紀」と銘打った伊勢崎晃一朗氏の一連の作品です。加古氏、松本氏、鈴木氏、和田氏の作品も、非常に個性のある作品で、対比、融合、破片の形、

全体などのテーマで、それぞれ「美」を追求しておられます。

初日ということもあって、会場で中島夫妻とお会いできて、挨拶を交わしました。 初日から25日間に来館した方に推奨作品を投票してもらい、それで「大賞」が決まる仕組みです。 (理事・広報部会 折出健二)

## 安城南高校が本学見学(6/2)

愛知県立安城南高等学校の生徒が 6 月 2 日 (木) 午前, 本学を見学した。

訪れたのは3年生16人と教員1人。知立駅からバスを利用して到着し、本部棟3階の第五会議室で、職員から本学の概要や入試、カリキュラムについての説明を受けた。教員志望、本学受験を希望する生徒も多数いて、入試について「どうやって合否が決まるのか」「受験勉強の対策としては…」などと質問。説明に高校生たちはメモをとるなどして熱心に耳を傾けていた。職員は「オー



プンキャンパスの7月30日,31日には、もっと詳しい入試情報や先輩たちの生の声が聞いてもらえるので、ぜひ参加して」と呼びかけた。

その後、学内施設を見学。あいにくの小雨模様だったが、学生サポートセンター、第一共通棟のエントランス、附属図書館、音楽棟、美術実習棟、生協などを見て回った。附属図書館では、職員の案内で、多目的スペースや開架図書、AVコーナーなどの説明を聞きながら巡り、生協ではカフェテリアスタイルで思い思いの昼食をとるなど、ちょっぴり学生生活の雰囲気を味わっていた。

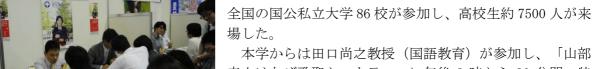
# 夢ナビライブに本学参加(6/4)

大学入試説明会「夢ナビライブ 2011」が 6 月 4 日 (土)、名古屋市中小企業振興会館吹上ホールで開催 され、本学も参加し、模擬授業を公開した。

同説明会はフロムページが主催し、文部科学省が後援。高校生に大学入試の説明をするとともに、大学の授業を模擬体験してもらい、志望大学を選ぶ際の参考にしてもらおうと実施された。昨年、東京、大阪で開

催され、名古屋 地区は初開催。





本字からは田口向之教授(国語教育)か参加し、「田部 赤人はなぜ歌聖か」をテーマに午後2時から30分間、特設のステージで講義ライブを行った。万葉の歌聖がいかに 工夫して言葉を組み立てたかを、「春日野歌」を例に挙げて、図解やイラストも用いて分かりやすく解説し、ライブ

感あるパワフルな講義を展開。本学志望の高校生らを中心に、約120人が熱心に耳を傾けた。

大学説明ブースでは、入試課の林光春課長、安達成人係長が説明に当たった。この日は本学ブースの前に説明を待つ行列ができ、担当者は終日、対応に追われた。入試課担当者は「他の説明会に比べ、相談者の数が多かった。愛教大を希望する人の割合も高かった」と、手ごたえを話した。

#### 第3回サイエンス・カフェ(6/4)

本学の科学・ものづくり教育推進センターが主催する「第3回サイエンス・カフェ」と「土星



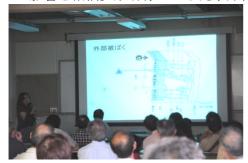
の観望会」が 6 月 4 日 (土)午後5時から,自然 科学棟5階で開催された。 親子連れから,学生や教職 員,天文マニアまで約 100 人が参加した。

午後5時からはミニ講座「宇宙線と放射線」と題し

て、児玉康一教授(理科教育)が講演。放射性物質からの放射線と、宇宙を飛び交っている放射線などの自然放射線の持つ基本的な性質について話をした。原子の構造をはじめ、原子核が崩壊するときに出す放射線、原子核の分裂・融合で放出されるエネルギーなどを、図表やグラフを使って解説。霧箱での宇宙線や電子の観測も行われ、参加者は飛行機雲の白い線から、宇宙線の存在を実感した。



続いて、榊原洋子講師が「放射線と私たちの健康」をテーマに講演。3月11日の東日本大震 災後の福島第一原子力発電所での事故による放射性物質の空気中への放出を受けて、放射線の健 康影響について述べた。JCO 東海村臨界事故や福島第一原発などで被爆した事例をあげ、人体へ の影響を指摘。放射線による健康障害リスクを減らすため「放射線発生源から距離をとる」「被



星の観察が行われた。

爆時間を最小にする」「気化した放射性ヨード汚染が広がったときなどは子どもの場合,ヨード剤服用」などの原則を確認するとともに,「自分が持っている免疫機能を大切にすることが非常に重要」との考えも示した。

この後は、飲み物とおやつをつまみながらのカフェタイムとなり、参加者は「健康への影響が心配だ」「放射線は 一体何なのか」などと講師と語り合う姿が見られた。

午後7時過ぎからは、屋上の天文台の40cm望遠鏡で土

### 第1回環境ミーティング(6/6)

本学の環境を考える「2011 年度第 1 回環境 ミーティング」が 6 月 6 日 (月) 午後零時 45 分から、第一共通棟自習室 A で開催された。

この日は、本学の環境に関心のある教職員、 学生、合わせて 21 人が参加。今回、課題とし て挙げられたのは「省エネ」と「禁煙」。保健 環境センター長の菅沼教生教授(理科教育)と 同センター榊原洋子講師らから「原発の停止で 今年は一層の省エネを迫られている」「4 月か ら学内全面禁煙になったが、守られていない」 との指摘が出された。



全面禁煙については、灰皿を撤去したが吸い殻が落ちており、夜遅い時間に喫煙する人がいるなど、現状が報告され、榊原講師は「法人としての禁煙を自主的に活動してきたが、意見が一致しないうちに始まった経緯もある。大学でも禁煙を支援しようと保健環境センターで相談を受け付けている。一人ひとりの思いはあるが、マナーとして方向的にちゃんとした方がいい」と、意見をまとめた。

また、ラグビー部部員からは、「毎週水曜日の朝の清掃活動で、ごみ袋3個分ぐらいのゴミを 回収しているが、そこから発展がないのが課題」、生協学生委員からは「学内清掃、クリーン作 戦を偶数月にやっている。大学祭でも台車でゴミ集めをして、(環境への取り組みを)アピール できた」などと、それぞれ報告や課題が示された。

# タッチタイピング講習会(6/6)



6月6日(月)午後1時から,情報処理センター第2教育 用コンピュータ室において教職員を対象にした「タッチ タイピング講習会」を開催しました。

情報処理センターでは、2009年度から教職員のICT スキルとセキュリティ意識の向上を目標とした講習会を年に数回行っています。今回は、計10人が受講しました。

講習会は、情報化推進室の稲垣直英室長と私が講師を 務め、まず「タイピングをするときの正しい姿勢」につ いて説明しました。正しい姿勢でパソコンを利用すると、 肩こりがなくなり、目の疲れも減少し、仕事の効率化が

はかれるといわれています。その後は、タイピング練習ソフトで、タッチタイピングを実際に練習し、最後はタイピングの速さと正確さを競うゲームを行いました。タッチタイピングができる 方もできない方もゲームには真剣に取り組んでいました。

講習会終了後、受講生の皆さんからは「正しい姿勢を知ることができてよかった。これからも 実践します」「日頃はなんとなく打っているキーボードの打ち方を見直すことができました」等 の前向きなコメントをたくさんいただきました。

情報処理センターでは、今まで「情報セキュリティ講習会」「Excel講習会」「メールの書き 方講習会」等を開催してきました。これからも、パソコンが苦手な方でも楽しく、かつ仕事で役立つ講習会を開きたいと思っています。今まで受講したことがない方もぜひ一度参加してみませんか。

(情報図書課 情報化推進室 佐合尚子)

# たばこの吸い殻回収(6/9)



本学の安全衛生委員会(委員長・折出健二理事)が呼び掛けた「ポイ捨て防止アクション」が6月9日(木)午後零時半から学内で行われ,30分足らずの間に多数のたばこの吸い殻が回収された。本年4月1日,敷地内全面禁煙が実

施されたにもかか わらず、喫煙が後 を絶たないため、 同委員会が教職員 に呼びかけて初め



折出委員長をはじめ教職員有志約20人が参加。掃除器具を持って4つに分けられたゾーンを歩いて吸い殻を拾い集めた。第一福利施設周辺や体育館周辺ではまとまって数十本の吸い殻が回収されるなど、いくつかの「喫煙場所」が確認され、職員

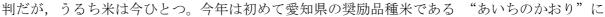


が付近の壁などに敷地内全面禁煙実施のポスターを貼って回った。 午後1時前,回収された吸い殻を職員らが調べたところ,全体では 846 本以上に上り,担当者は数の多さに驚いていた。最も多かった のは自然科学棟・第一福利施設周辺の358本で,附属図書館前広場 一帯が239本,武道館前周辺187本などだった。活動を終えた折出 委員長は「全面禁煙ルールが構成員の心の中に落ちるまでには時間 もかかる。気長に対処していく。ただ,ボヤ・火災だけは絶対に避 けなければならない」と語った。安全衛生委員会は今後もこうした回収活動を毎月1回実施していく予定。

# 学生が田植えを体験(6/9)

技術教育1年の学生が6月9日(木)午後,本学の水田で田植えを体験した。太田弘一教授(技術教育)の栽培実習で、学生13人に「ぜひ田植えを体験したい」というタイの留学生も加わり、裸足で田んぼに入って苗を数本ずつに分けて丁寧に植えていった。

水田は計約 2100 平方に。 うち約 1400 平方には餅米の苗がすでに植えられており、この日の田植えは約 700 平方にが対象。実習補助の男性は「餅米はおいしいと評





変えてみました」と苗を見ながら収穫が楽しみな様子。学生は初めて間近で見る田植機の操作方法を学び、「機械で植えたい」と名乗り出た学生以外は揃って手植え。どろんこの田に足を取られそうになりながらも、皆、声を掛け合いながら笑顔で次々と等間隔に植えていった。田植機と合わせて作業は順調に進み、夕方までには緑の苗が一面に広がった。

植えられた苗は今後,水の管理,カモによる草 取りなどを経て生育,10月に待望の稲刈りが行 われる。

#### 墨塗り教科書展(6/13~6/26)

終戦直後の墨塗り教科書を紹介する「終戦と教 科書―墨塗りの実態」展が 6 月 13 日 (月) から 附属図書館 2 階のアイ♥スペースで始まった。6 月 26 日 (日) まで。

本学所蔵の資料展で、1945 年 8 月 15 日の終戦 以降、翌 46 年までの約半年の間に当時の小学校 (国民学校)で使われた皇国精神、戦意高揚に関 する部分を墨塗りにした教科書を展示。国語、算 数、理科、地理、修身、音楽の 6 教科の教師用 3 冊、生徒用 13 冊の計 16 冊。復刻版などと比較し



ながら墨塗りされる前後の教科書の文字や絵を直接確認することができる。

たとえば修身では「テキノ, タマガ, 雨のヤウニ, トンデ来ル」などの部分が全く見えなくなっており, 音楽の「無言のがいせん(凱旋)」の歌は切り取られ, 理科では「卵の殻で潜水艦を



作ろう」のページが潜水艦の絵は消され、単なる「浮き沈みの研究をしよう」との書き込みに変わった。当時の教科書は墨塗りだけでなく、ページごと切り取られたり、糊で貼り合わされるなど、目次の項目全体を隠す工夫の跡もうかがえる。関連図書もいくつか展示され、その中の一つ「教科書の歴史」には教師が「いままで教えてきたことが全部間違っていたとは児童に言えない」と教職を辞したケースが紹介されているなど当時の教育

界の混乱ぶりが分かる。敗戦による混乱の中、当時の教科書と教育の実態を知る貴重な手がかり になりそうなものばかりで興味深い。

入場無料。15日は休館。問い合わせは10566 (26) 2685。

# お知らせ・報告・投稿

### 英語eラーニング システムの活用を(お知らせ)

本学の小中英語支援室では、2010 年度より文部科学省特別経費を受けて、小学校外国語活動 を前提とした小中高の英語教育の連携に関する研究を行っています。この研究事業の柱の一つで ある「特色ある大学教育の実現に向けた教員養成カリキュラムの研究開発とその試行」に係る取

り組みの中で、学生の英語力向上とそのための環境整備の 必要性が認められ、本年度より、対応策として英語 elearning システム「アルク社ネットアカデミー2」を導 入しました。本システムは、本学学生だけでなく、教職員 の皆様も、無料で利用することができます。ぜひ自学自習 に積極的に活用してください。

なお、この学習プログラムにはいくつかのコースがあり ます。「スーパースタンダードコース」は新 TOEIC 用リー ディングとリスニング対策として適しており、あらゆるレ ベル・ジャンルが選択できます。「スーパースタンダード



コース」は、2015年3月まで利用可能、それ以外の下記コースは今年度のみ利用可能です。

- 1. PowerWords コース プラス
- 2. 初中級コース プラス
- 3. 技術英語パワーアップコース 10. 基礎英語コース
- 4. ライティング < 基礎 > コース 11. 英文法コース
- 5. 医学英語コース
- 6. 中国語コース
- 7. 英語入門コース

- 8. スタンダードコース
- 9.技術英語<基礎>コース

- 12. 日本語コース
- 13. IT パスポートコース



上記のように、今年度につきましては、初級用/上級用、理系用/文系用、単語コース/文法コ ースなど多彩な英語学習コースに加え、中国語や日本語の学習コースもあります。目的や状況に 応じてお使いください。

本システムの利用に際しましては、専用サイト (https://www.na.aichi-edu.ac.jp/anet2/) にアクセスし、情報処理センター発行のアカウントとパスワードでログインしてください。同セ ンターのアカウントをお持ちでない方は、センターでの取得をお願い致します。以下、学生の感 想・意見を紹介します。

「スーパースタンダードコース」

- ・単語帳に自分の分からないことが登録でき、レベル別に問題を選ぶことができるところが良い。 発声の仕方が学びやすく、シャドーイングや他の項目ごとに複数の手段から学習できることが良 かったです。
- ・大学での講義で使いやすいと思う。TOEIC 対策には使えると思う。

まず本や CD を使って勉強するときよりも準備が楽。次に勉強の進め方がはっきりしているので、 覚えてしまえば毎日スムーズに進められ無駄な時間がなくなりました。また必要だと思ったとき にすぐに発音したり単語帳を開いたり解説を出したりできるので、少しやる気がでました。コン ピュータを使った学習は進んで勉強に取り組める利点がたくさんあると思いました。

・家でインターネット環境がなくても大学でネットを利用することができるので空いた時間にで きるから良いと思いました。TOEIC を受ける日に友達に「勉強した?」と聞くと、全くやってい ないという人がほとんどで、私自身もそうだったのでうれしい教材になりました。無料で、 TOEIC だけではなく英語の授業の対策にもなり、このネットアカデミーは社会に出てからも大事 な英語力の向上につながっていくのではないかと思いました。英語が苦手な人にとってはリーディングやリスニングは絵を使ってやるので分かりやすく、内容も疲れない程度で丁度よい。

利用方法の詳細は、当プロジェクト運営 Web サイト (http://www.aue-english.aichi-edu.ac.jp/) 及び上記サイトをご参照ください。お問い合わせは、小中英語支援室 (aue.english@gmail.com) までお願い致します。

(小川 知恵 教育創造開発機構 大学教育・教員養成開発センター 小中英語教育支援部門)

# 第1回地域連携会議(報告)



本学の「外国人児童生徒を軸とした多文化共生 社会をめざす教育支援の構築」事業に関する本年 度第1回地域連携会議が,5月27日(金)午後2 時より第三会議室で開催された。

本会議は本学の地域連携センター 外国人児童 生徒部門の主催で、本学と連携に関する覚書を締 結している教育委員会から関係者 14 人が出席、 本学側からは 22 人が参加して、本年度の事業計 画等について協議を行った。

本事業は、学生ボランティアにとって有意義で、 学校現場の先生方からいただくアドバイスや、自

分の目で実際に児童生徒に触れる経験ができ、学生自身が高く評価しているのが特徴。先生方や 大学のスタッフに支えられながら学生自身が主体性を持って進められる活動となっている。

会議では、教育委員会関係者から本学学生が各市で活躍している様子が話され、大学関係者に とっても事業が地域貢献を大役を担っていることを再確認することとなった。毎年度2回開催さ れているこの会議も回を重ねるにつれ、参加者から多様な視点からの意見が出されるようになり、 本当の意味での幅の広い連携が進められるようになってきている。

#### リポジトリ登録 3000 件突破(報告)

本学の研究・教育成果をインターネット上で公開する「愛知教育大学学術情報リポジトリ」は、4月21日(木)に登録件数3,000件を突破した。附属図書館ではこれを記念して、3,000件目の文献「シラバスの現状と課題」を提供した中西宏文教授(情報教育)にインタビューを実施した。

インタビューでは本学の「シラバス」の 開発話が中心となっている。本学のシラバスは今年度さらに利便性が高まったが、そ の開発の裏側には、利用者の立場にたち、 より使いやすいシステムを目指した中西研 究室の思いや工夫があったことが語られた。



日頃からシラバスをご利用になっている方々やシラバスに関わる方々に、是非読んでいただき たい内容となっている。

インタビューの内容は次の URL で一般に公開されている。

(情報図書課 古田紀子)

登録件数 3,000 件突破記念インタビュー

http://repository.aichi-edu.ac.jp/interview/3000/interview3000.html

## 形状記憶合金の分科会を開催(投稿)



愛知県知多郡東浦町のあいち健康プラザで 5 月 27 日(金)、形状記憶合金の研究者や企業関係者 らが集まる講演会が開かれました。この講演会は日本機械学会、形状記憶合金分科会(主査:北村一浩 准教授)が開いたもので、形状記憶合金の研究者や、愛知県内の企業関係者ら 50 人が参加しました。はじめに講演を行ったのは、国立長寿医療研究センター・長寿医療工学研究部・診療関連機器開発研究部の根本哲也氏です。講演のテーマは、「医療、介護分野が望む形状記憶合金の応用展開」で、高齢化に伴って起こる骨や関節の変形、動作の衰えなど、さ

まざまな症状を補助する器具や医療器具等の具体的な問題点を挙げ、改善アイデアを求めました。 次に、大同大学工学部・電気電子工学科の佐藤義久氏に、「形状記憶合金エンジンの出力特 性」と題してご講演を頂き、形状記憶合金を用いて、発電所の廃熱など、今まで捨てられていた エネルギーから発電する技術について紹介いただきました。また、愛知工業大学・機械学科の戸 伏壽昭氏に「形状記憶合金と形状記憶ポリマーの機能特性と応用」と題してご講演願い、2種類 の形状記憶材料を組み合わせた今までない材料についての研究内容を紹介していただきました。 最後に大府市役所の小林弘和氏に「ウエルネスバレー構想の推進について」と題して話題提供を していただきました。今回の分科会を通じて現場のニーズが分かり、新しいことができそうだと 手応えを感じました。
(技術教育 准教授・北村一浩)

#### 催しもの

◆ 世界一周写真展(愛知教育大学・刈谷駅前商店街振興組合コラボ事業) 6月18日(土)~26日(日)10:00~17:00 刈谷市南桜町2-41,スペースAQUA 木村亮介氏が1年5カ月にわたり,バックパッカーとして中国からアフリカまで26 カ国を旅した記録写真展。 問い合わせ: Tac0566・23・2488

#### 編集後記

栽培実習で学生が泥んこになりながら田植えをする様子を取材して、将来のために貴重な体験になるのではと改めて期待感を持ちました。田植え、稲刈り、野菜作りなどを子ども時代に経験する若者は少なく、本学学生も例外ではないようです。田植えや栽培の体験のない学生がたとえば小学校の先生になって、学校で植物の手入れをしたり、動物を育てたりするときに児童の質問に答え、動植物の扱い方や自然との触れ合いについて自信を持って的確に教えることができるでしょうか。田植えは素晴らしい体験ですが、体験すべきことは数多くあります。これからの時代を生き抜き、感性を磨いていく学生にとって真に大事な体験学習とは何か、他にも体験すべきことがあるのではないか、などと考えさせられました。(N)

投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール: kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者: 総務担当理事 折出 健二